

市内他クラブプログラム

- 3月5日(木) 函館R.C. 会員卓話
- 3月6日(金) 函館五稜郭R.C. 「ソ連取材20年」
北海道新聞函館支社
支社長 富永 守雄 氏
- 3月9日(月) 函館亀田R.C. 移動例会
- 3月10日(火) 函館東R.C. 会員卓話

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 2月19日	90.91%
出 席	40名		函 館 東 2月18日	96.59%
欠 席	27名		函 館 2月13日	91.20%
他クラブ出席	20名		函館五稜郭 2月14日	100.00%
出席合計	60名		函館亀田 2月17日	88.24%
除 外 者	1名			

次回・3月11日
プログラム

「観光と航空業界」

全日空函館支店長 北御門 洋 氏

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函館 国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第2510地区 第11分区



1991～1992

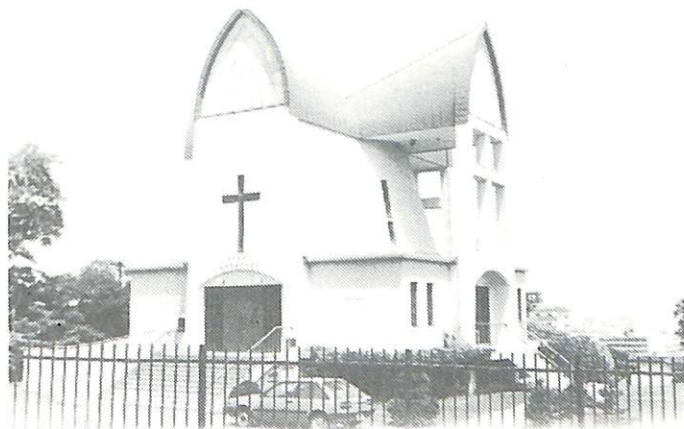
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ラジエンドラ. K. サブー 国際ロータリー会長テーマ

自分を 超えた 眼を
LOOK BEYOND YOURSELF



ヨハネ聖教会

《第1387回例会》 第34号 3月11日(水)

本日のプログラム

「観光と航空業界」

全日空函館支店長 北御門 洋 氏

★会 長 川村 昭夫 ★幹 事 三木本 元

1991~1992

〈第1386回例会〉 第 33 号

3月4日の記録

- ◎司 会 斎藤 紀一 直前会長 ◎齊 唱 君が代、奉仕の理想
 ◎ピジター 函館R.C.佐々木恭人君・工藤敏夫君・井ヶ田高彦君・中沢郁雄君・
 張江征司君、函館東R.C.黒崎敏雄君・河内孝夫君、函館五稜郭R.C.
 大日向豊吉君・斎藤東栄君、函館亀田R.C.佐々木一明君、
 北部R.A.C.中島久雄君、交換学生 NIKI・PURSER

◎ゲ ス ト 日本鳥類保護連盟専門委員 隅田 重義 氏

★誕生祝 安 会員（9日）、成沢会員（12日）、川村(邦)会員（14日）、
 菊地会員（19日）、高杉会員（22日）、南木会員（31日）

★結婚祝 安 会員（6日）、久保会員（14日）、山崎(悦)会員（20日）、
 寺西会員（25日）、大和会員（31日）

◎会長報告 斎藤 紀一 直前会長

- 報告事項は特にありません。
- 飯田会員より、オーストラリア・ケアンズ・ロータリークラブを訪問し、パナ
 ー交換の報告

◎国際奉仕委員会 新 博夫 委員長

- GSEのホームステイを大野会員に受けて頂く事になりました。

◎職業奉仕委員会 森 秀樹 委員長

- 2回目の内科検診を行いますので、希望日の提出をお願いします。

◎北部ローターアクト 中島 久雄 前会長

- 先日の合同例会でのローターアクト活動資金のご協力ありがとうございました。

◎幹事報告 薮下 義晴 副幹事

- 岩内ロータリークラブの30周年記念式典の案内がきています。（5月11日）
- 他クラブ情報 3月9日亀田R.C. 12日函館R.C. 13日五稜郭R.C. 各夜間例
 会です。
- 4月24日・25日の地区年次大会の参加希望の再確認願います。

◎親睦活動委員会 堀部 弘志 会員

ニコニコBOX投入報告

斎藤東栄君（五稜郭R.C.）……先般ご迷惑おかけしました。

中里 会員……月初めです。

新 会員……月初めです。

遠藤 会員……隅田先生の卓話です。

飯田 会員……欠席のおわび。

斎藤 会員……BOXに協力。

佐々木会員…… ”

平野 会員……明日、啓蒙の日を迎えます。お互いの健康を祈念して。

西尾 会員……BOXに協力。

山本 会員…… ”

大野 会員……今日は公立高の試験日です。

安 会員……夫婦で誕生月・結婚月、息子大学に入学。

小池 会員……春になりましたので。

山崎(悦)会員……月初めです。

堀部 会員……4月から単身赴任解除です。よろしく。

- ◎卓話 「パラダイス北海道」 日本鳥類保護連盟専門委員 隅田 重義 氏
 「パラダイス北海道は、元英国領事（函館在住）デンビー氏の言葉で、北海道
 は自然の豊かさで、世界に類例のないパラダイスである。
 稚内から襟裳まで北海道を縦貫する山脈は、雄大さ、長さにおいて、類例がな
 く、北海道は渡り鳥の要地で350種類もいる。
 日本では、既に、トキ・コウノトリが絶滅したが、今ではシマフクロウがどう
 なるかという状況の中で最近のうれしいニュースを紹介します。
 1つは、亀尾小学校の教室にキクイタダキが迷いこんできたが、子供達の小鳥
 を大切に、ふれあう心に感動した事。もう1つは、遠藤先生の庭にキレンジ
 ヤクがきた。写真にとったが、遠藤先生の庭にはよく小鳥がくる。春が来ても
 小鳥の啼かない春はさびしい。"庭に小鳥を、"というのが世界的運動の標語に
 なっている。
 写真を回しますが、函館にいるクマゲラ、鉄山で撮ったコウノトリ、砂原での
 キレンジャクなどです。
 インドでは100万羽いたバライロガモが絶滅した。種が絶滅したらもう戻し
 ようがない。
 北海道には、昭和新山、マリモ、日高、大沼の高山植物など自然的文化財が多
 いが、自然物を自分のものと考えて、尊い自然が大切にされていない。
 自然保護は環境庁が所管しているが、人員・予算ともに少ない。国へのお願い
 も多いが、責任の所在がはっきりせず苦勞している。もっと思い切って取り組
 んで欲しい。
 自然や生物は、国民共有の財産であり、それを守る姿勢は英国・米国等の例に
 学びたいものである。

豊富な体験でのエピソードを交え、北海道と自然を愛される感銘の深い
 卓話でした。

